

海外安全対策情報（2023年10月～12月）

在フランス日本国大使館
在ストラスブール日本国総領事館
在マルセイユ日本国総領事館
在リヨン領事事務所

1. フランス国内の治安情勢

フランス国内においては、窃盗、暴行、強盗等、日本人も被害者となり得る犯罪が引き続き多く発生しています。

フランスに渡航される方、すでに滞在中の方は、犯罪の被害に遭わないように、引き続き十分に注意してください。

フランス当局発表 犯罪統計

	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	前年同期比
殺人	93件	64件	96件	253件	90.4%
武装強盗	576件	571件	564件	1,711件	114.4%
非武装強盗	4,191件	4,328件	4,366件	12,885件	97.0%
傷害	30,288件	29,833件	31,464件	91,585件	105.5%
性的犯罪	7,592件	7,578件	8,197件	23,367件	111.4%
家屋等の不法侵入	18,065件	17,860件	17,980件	53,905件	105.9%
窃盗	52,082件	51,652件	53,081件	156,815件	95.3%
自動車盗難	11,702件	11,909件	12,126件	35,737件	109.2%
自動車内物品の盗難	20,739件	21,134件	21,522件	63,395件	107.6%
自動車部品の盗難	7,149件	7,282件	7,163件	21,594件	86.4%
器物破壊	43,030件	41,778件	43,186件	127,994件	96.8%
詐欺	40,256件	41,130件	43,647件	125,033件	107.9%

武器を使用した強盗

武器を用いた強盗は、1,711件発生しました。

誘拐事件

日本人を対象とした事案はありませんでした。

爆弾事件・テロ

2023年10月、ノール＝パ・ド・カレー県アラス市の高等学校において、元学生の男が教師を刃物で死傷するテロが発生し、また、12月、パリ市内ビラケム橋周辺において、男が刃物で歩行者を死傷するテロが発生しました。

テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

2. 日本人が被害者となった犯罪（未遂を含む）

日本人の犯罪被害報告が後を絶ちません。今期は、在留邦人の待ち伏せ強盗被害（夜間に帰宅したところ、玄関の前で刃物を持った男性に脅されて所持品を詐取された）が発生しました。夜間の外出時には周囲の状況に一層の注意を払うとともに、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等の安全対策を講じるようにしてください。

また、短期渡航者が地下鉄駅等で複数人に囲まれ、所持品等を強奪される強盗事案が複数報告された他、不動産契約の場面において、相手方に要求され所要額を振り込んだ後に、連絡が取れなくなる詐欺事案等が報告されました。引き続き、観光客や短期滞在者を狙った犯罪には十分に注意してください。

地域別日本人犯罪被害発生状況（2023年10月～12月）								
	パリ及び近郊	リヨン	マルセイユ	ニース	ストラスブール	ナント	ポルドー	その他
スリ	14件	2件			1件			1件
ひったくり	2件							
置き引き	3件	4件			1件	1件		1件
コインばらまき泥棒								
上記以外の窃盗								1件
押しつけ販売	5件							
強盗	5件							
恐喝								
脅迫								
暴行		1件	1件					
車上狙い							1件	1件
家屋不法侵入								2件
詐欺	2件				2件			1件
性的犯罪								
その他								
合計	31件	7件	1件	0件	4件	1件		7件

※大使館、総領事館、領事事務所に報告があった件数

パリ及び近郊における毎月の日本人の犯罪被害状況は、在フランス日本国大使館ウェブサイト『日本人の犯罪被害 月例統計』に掲載しています。

https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/02218.html

3. 日系企業の安全に関わる諸問題

現在のところ、日系企業の安全について、特段の問題があるとの情報には接していません。

4. 対日感情

対日感情は、良好です。